

パブリックコメントの結果公表

- ・政策等の名称

第2次成田市食育推進計画（素案）

- ・意見等の募集期間

平成29年12月21日 から 平成30年1月19日

- ・意見等の件数

3件 （3人）

- ・担当課

経済部農政課（20-1542）

第2次成田市食育推進計画（素案）について提出された意見と市の考え方

番号	提出された意見の概要	意見に対する市の考え方
1	<p>食育をするのであれば、本当の食育をしていただきたいと思えます。</p> <p>間違った病気になる食事を続けてきて、これだけ病気が蔓延しているのですから、本来の日本食を食育として広めてください。</p> <p>学校給食も同じように本来の日本食に戻してください。</p> <p>玄米・菜食中心の日本食を食育してください。</p> <p>農薬や化学肥料を使わない、無農薬栽培を成田市の柱にしてください。</p> <p>オーガニックにすべて切り替えてください。</p> <p>農産物をオーガニックにして、調味料なども、昔ながらの本物にしてください。学校給食など。</p> <p>以上、真実を食育してください。</p> <p>オーガニックな街、成田に!!</p>	<p>食生活をめぐる環境が大きく変化し、食の欧米化が広がるなか、食の安全・安心を求める声が高まっています。</p> <p>計画書46ページ「目標3 安全・安心な食の環境づくり」に記載してありますとおり、一人ひとりが食品の安全性をはじめとして食生活や健康に関する正しい知識を持ち、安全・安心な食べ物を選ぶ力を身に付けることが大切です。</p> <p>具体的な取り組みとして、53ページから55ページに記載してあります、「学校・幼稚園・保育所等における食育の推進」や「地域における食生活改善の推進」により、安全・安心な消費生活ができるよう、啓発活動や情報提供を行ってまいります。</p>
2	<p>『学校・幼稚園・保育所等における食育の推進』（P53）に賛同いたします。</p> <p>更に、本項目につき、下記のように<u>追記する事を提案</u>いたします。</p>	<p>家庭や地域にとどまらず、多くの関係団体や関係事業者などの協力をいただきながら推進していくこととしておりますので、「関係団体等」と追記いたします。</p>

番号	提出された意見の概要	意見に対する市の考え方
	<p>追記案：家庭や地域、<u>企業等</u>と連携しながら学校や幼稚園、保育所等成長段階に応じた食育を推進します。</p> <p>『食を育む環境への理解』（P59）に賛同いたします。</p> <p>更に、本項目につき、下記のように<u>追記する事を提案</u>いたします。</p> <p>追記案：学校や地域、<u>企業等</u>と連携し、農業体験や市民農園等による農産物を育て、収穫する楽しさ、生産に係る環境学習機会の提供などを通して、環境に配慮した農業への理解を促進します。</p>	<p>学校や地域にとどまらず、多くの関係団体や関係事業者などの協力をいただきながら推進していくこととしておりますので、「関係団体等」と追記いたします。</p>
3	<p>環境に配慮した農業への理解と促進とありますが、具体的に、どうして有機農業を促進するのか、説明することが必要だと思います。</p> <p>食育とは、命を守るため、命をつくるための教育だと思います。</p> <p>広大な成田の土地を大切に守り、安全な作物を作り出せる市に成長していただけたらいいのではと思います。</p> <p>朝食や栄養の有無も大切かとは思いますが、食そのもの</p>	<p>有機農業の推進につきましては、計画書59ページ「7 食を育む環境への理解」の「①安全・安心な農産物の供給」に記載してありますとおり、環境負荷の低減や安全安心な農産物の供給のため、取り組んでいくこととしております。</p> <p>また計画書52ページ「2 食に関する体験活動の推進」60ページ「8 郷土料理による食文化の伝承」に記載してありますとおり、食や農業に対する関心を高め、地域の文化や食べ物大切さを理解していただけるよう、取り組んでい</p>

番号	提出された意見の概要	意見に対する市の考え方
	<p>の質や価値を教育することも、とても大切だと思います。</p> <p>市民農園の普及、郷土料理教室などはもっとひろがるといいなと思います。</p>	<p>くこととしております。</p>